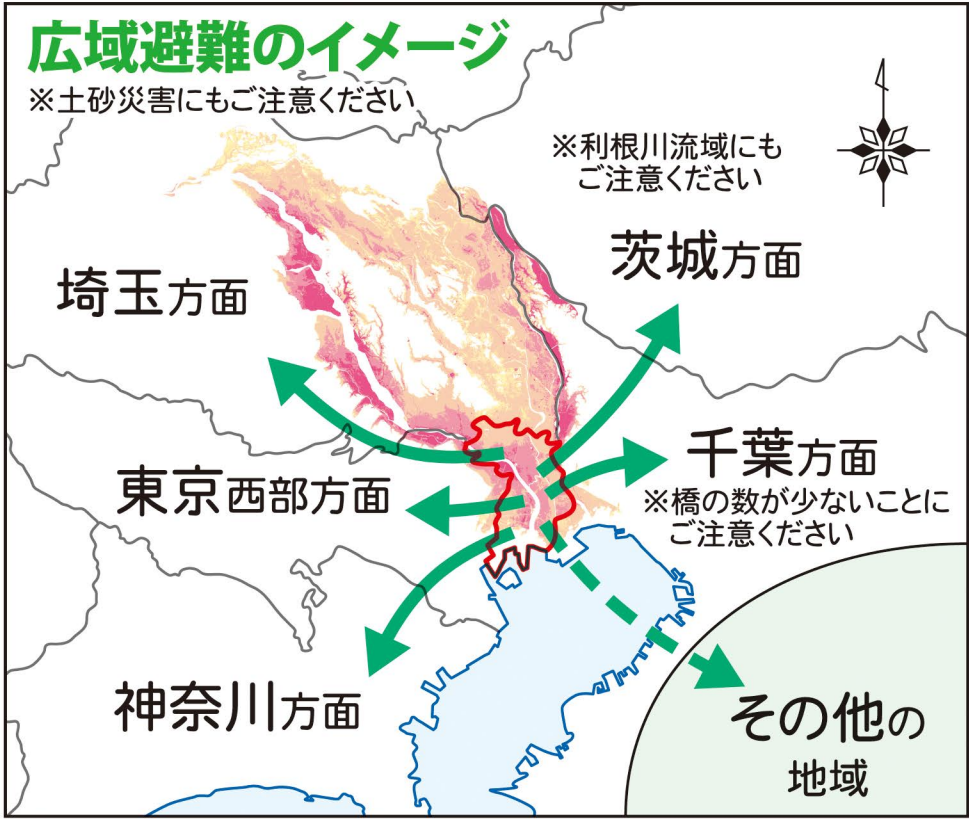


大規模水害が起きる可能性がある場合には、江東5区のほぼ全域に広域避難勧告が発令されます。
各区からの情報に注意して、適切な避難行動を取ってください。

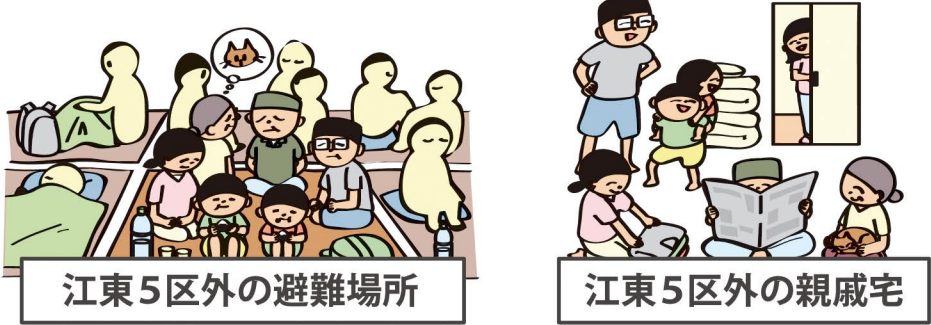
※避難行動などの詳細は、江東5区大規模水害
広域避難計画をご覧ください。

江東5区で発令する避難情報について

- 72時間前
(3日前)
- 共同検討開始
- 江東5区が共同で、大規模水害への対応について検討します。
- 48時間前
(2日前)
- 自主的広域避難情報を発表します
- 広域避難勧告を発令する前に、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけます。
- 24時間前
(1日前)
- 広域避難勧告を発令します
- 区長が、江東5区外の地域への避難を勧告します。
- 9時間前
- 域内垂直避難指示(緊急)を発令します
- 広域避難をする時間的な猶予がないと判断した際に垂直避難行動をとるように区長が指示を出します。
- 氾濫発生
- 大規模水害発生後、浸水しなかった区域の住民は、速やかに帰宅してください。



江東5区では、非浸水地域の自治体と避難の受け入れについての協議を進めていますが、具体的な場所はまだ特定できていません。避難場所を開設できたとしても限りがあり、また混雑してプライバシーを確保することも難しいです。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル、民宿、勤務先等の避難先に避難しましょう。



江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いいたします。

避難の方法

電車での避難

雨風が強まる前に利用する交通機関の最新の情報を取得し、早めに避難を開始してください。



徒歩・自転車での避難

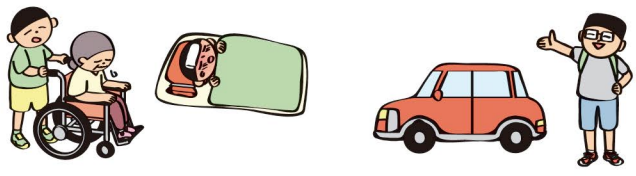
避難の開始が遅れると、橋梁部で混雑する可能性があります。交通誘導に従って、落ち着いて避難をしましょう。



自動車での避難

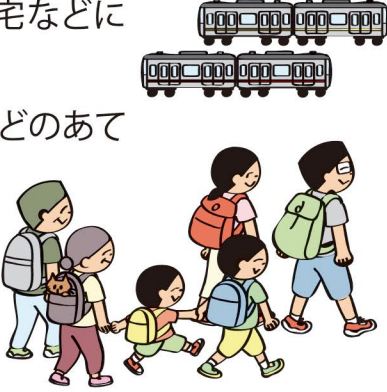
- 1日以上前に避難する(自主避難)場合：誰でも車で避難可能
- 1日前に広域避難勧告の発令があった場合：避難行動要支援者やその付添者は車で避難可能

自動車での避難は、大渋滞が発生し、避難が間に合わなくなってしまう。そのため、御身体が不自由な要配慮者とその付添者以外の方は、広域避難勧告発令後に自動車での避難をするのは、ご遠慮ください。



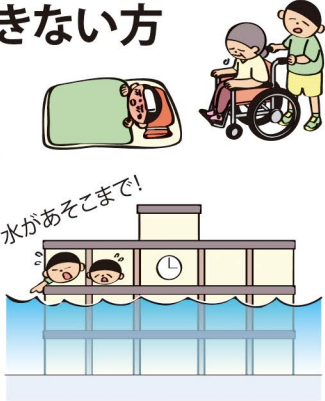
江東5区外への広域避難について

- 浸水しない地域の親戚、友人、知人宅などに避難させてもらえないか検討する。
- もし避難できる親戚、友人、知人宅などのあてがあれば、事前をお願いしておく。
- 民間の宿泊施設へ避難する。
- 江東5区は関係機関と協議して、公的な避難先も決めていきます。



歩行が困難で公共交通機関を利用して江東5区外へ避難ができない方

- 車での早めの避難を検討する。
 - 近隣の小・中学校への避難を考えておく。
 - 避難時に常備薬や食料も持参する。
- ※近隣の小・中学校に避難した場合も、街が浸水するとライフラインが使えなくなります。



自宅に留まらざるを得ない時の屋内安全確保のポイント

- 2週間以上の浸水に備えて、水・食料・簡易トイレ・卓上コンロ・充電器等を、あらかじめ備蓄しておく。
- 浸水する階の貴重品や電化製品等は、浸水しない階まで上げる。
- 漏電を防ぐため、浸水する階の電化製品のコンセントは抜いて、ブレーカーも落とす。



高潮による氾濫について

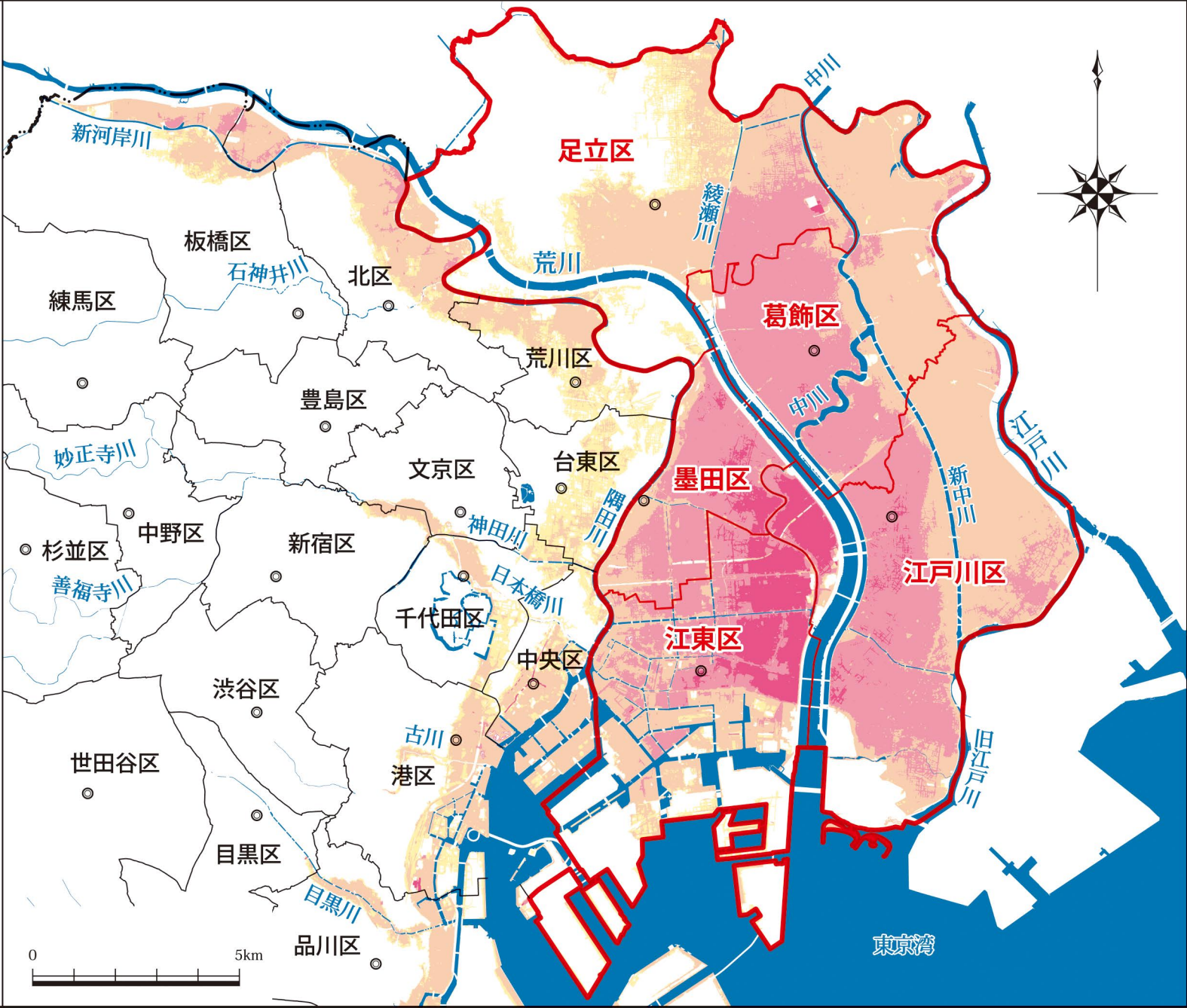
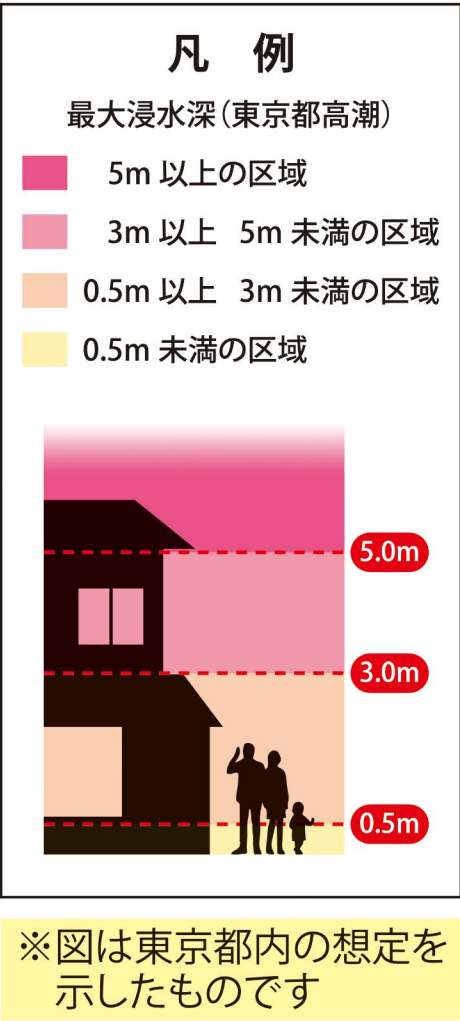
江東5区大規模水害ハザードマップは、荒川と江戸川が氾濫した場合の想定を示したものです。しかし、中心気圧930hPa以下の猛烈な台風が東京に接近した場合には、高潮が発生して、江東5区のほぼ全域が浸水するおそれがあります。高潮が発生するおそれがある時は、江東5区が早い段階で広域避難勧告を発令し、避難を呼びかけますので、区からの情報に注意をしてください。

高潮浸水想定区域図(浸水深、浸水継続時間)

- ・我が国既往最大規模の台風(室戸台風級:910hPa)を想定
- ・東京港に最大の高潮を発生させるような台風の経路を設定
- ・高潮と同時に河川での洪水を考慮
- ・最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を見込む

※下図は、東京都港湾局・建設局の高潮浸水想定区域図を基に作成したものです。
詳細図は、東京都港湾局・建設局のホームページからご覧になれます。

高潮浸水想定区域図
(浸水深)



高潮浸水想定区域図
(浸水継続時間)

